

総長予定者資料

1. 氏名及び年令（年令は平成20年度末年令）

濱田 純一 （59歳）

2. 現職

東京大学理事・副学長

3. 学位（学位の別、専攻分野、取得大学等名及び取得年月）

法学博士（東京大学）（昭和55年9月）

4. 学歴（大学卒業以降）

東京大学法学部卒業（昭和47年3月）

東京大学大学院法学政治学研究科博士課程退学（昭和53年3月）

5. 主な職歴

昭和53年4月 東京大学助手（新聞研究所）

昭和56年10月 東京大学助教授（新聞研究所）

平成4年4月 東京大学教授（社会情報研究所）

平成7年4月 東京大学社会情報研究所長（11年3月まで）

平成12年4月 東京大学教授（大学院情報学環）

平成12年4月 東京大学大学院情報学環長・学際情報学府長（14年3月まで）

平成17年4月 国立大学法人東京大学理事、副学長（現在に至る）

6. 主な教育・研究・学術活動の概要

大学院（社会学研究科、法学政治学研究科、人文社会系研究科、学際情報学府等）において、「情報法」、「情報法論」、「情報政策論」等の授業を担当

「情報法」「情報政策」及び「社会情報学」という新しい学問分野の開拓

7. 主な著作（研究論文を含む。）（題目、出典、発行年を記載）

「制度概念における主観性と客観性」(現代憲法学研究会編『現代国家と憲法の原理』所収) 有斐閣(1983年)

Toward a Theory of the “Open Broadcasting System”, in STUDIES OF BROADCASTING, No.25 NHK放送文化研究所(1989年)

『メディアの法理』 日本評論社(1990年)

『情報法』 有斐閣(1993年)

「情報政策論への視点」(東京大学社会情報研究所編『社会情報と情報環境』所収) 東京大学出版会(1994年)

「情報メディア法制」(「公法研究」第60号所収) 日本公法学会(1998年)

「社会情報学とは何か」(廣井脩編『社会情報学』所収) 東京大学出版会(1999年)

Wettbewerb und Vermachtung in der Informationsgesellschaft, in: Hrsg. v. Kitagawa, Murakami, Noerr, Oppermann, Shiono, “Regulierung Deregulierung Liberalisierung”, Mohr Siebeck(2001年)

『情報学事典』(共編著) 弘文堂(2002年)

8. 大学運営に関する主な活動

平成1年～2年 総長補佐

平成7年～11年 社会情報研究所長、東京大学評議員

平成11年～12年 「大学院情報学環・学際情報学府」設立プロデューサー、情報にかかわる学際的大学院の構想企画と組織設立準備

平成12年～14年 大学院情報学環長・学際情報学府長、情報にかかわる学際的大学院の新設段階における教育研究体制の整備

平成17年～現在 理事・副学長、総務・広報・危機管理・アクションプラン・教員人事(処遇)等を担当

9. 学会、審議会等における主な活動

平成11年～13年ほか 日本マス・コミュニケーション学会理事、研究企画運営等

平成12年～現在 総務省電波監理審議会委員、総務大臣の諮問に対する答申、異議申立の処理等

10. その他特記事項(受賞歴等)